

みずほCustomer Desk Report 2018/06/12号(As of 2018/06/11)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	109.44
	GBP/USD	AUD/USD			
TKY 9:00AM	109.47	1.1784	129.00	1.3410	0.7603
SYD-NY High	110.12	1.1821	130.05	1.3441	0.7621
SYD-NY Low	109.23	1.1753	128.65	1.3345	0.7575
NY 5:00 PM	110.03	1.1784	129.68	1.3381	0.7609
NY DOW	25,322.31	5.78	日本2年債	-0.1300	0.00bp
NASDAQ	7,659.93	14.41	日本10年債	0.0400	0.00bp
S&P	2,782.00	2.97	米国2年債	2.5223	2.45bp
日経平均	22,804.04	109.54	米国5年債	2.7948	1.01bp
TOPIX	1,786.84	5.40	米国10年債	2.9507	0.37bp
シカゴ日経先物	22,960.00	290.00	独10年債	0.4925	4.90bp
ロンドンFT	7,737.43	56.36	英10年債	1.4045	1.75bp
DAX	12,842.91	76.36	豪10年債	2.7940	▲0.70bp
ハンセン指数	31,063.70	105.49	USDJPY 1M Vol	6.95	▲0.28%
上海総合	3,052.78	▲14.36	USDJPY 3M Vol	7.25	▲0.26%
NY金	1,303.20	0.50	USDJPY 6M Vol	7.80	▲0.20%
WTI	66.10	0.36	USDJPY 1M 25RR	-1.03	Yen Call Over
CRB指数	199.39	▲0.65	EURJPY 3M Vol	9.07	▲0.23%
ドルインデックス	93.58	0.02	EURJPY 6M Vol	9.20	▲0.30%

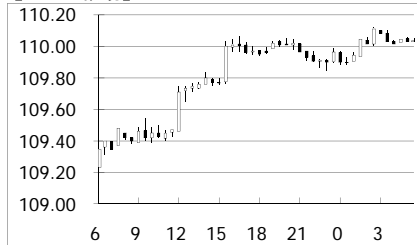
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
6月11日	17:30	英 貿易収支	4月 -5,280M	-2,500M
	17:30	英 鉱工業生産(前月比/前年比)	4月 -0.8%/1.8%	0.1%/2.7%
	17:30	英 製造業生産(前月比/前年比)	4月 -1.4%/1.4%	0.3%/3.1%

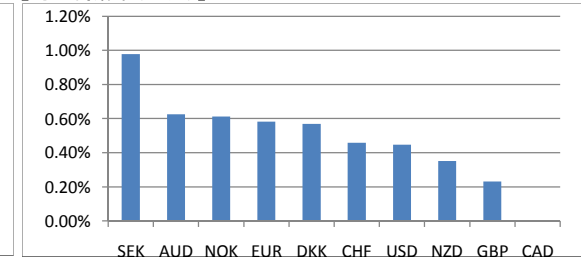
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
6月12日	10:00	米朝首脳会談(シンガポール)		
	10:30	豪 NAB企業調査(景況感/信頼感)	5月 -	21/10
	18:00	独 ZEW調査(現状/期待)	6月 85.0/-14.0	87.4/-8.2
	21:30	米 CPI(前月比/前年比)	5月 0.2%/2.8%	0.2%/2.5%

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	109.50—111.00	1.1750—1.1850	129.25—131.25

【マーケットインプレッション】

昨日海外時間のドル円相場は、レンジ内での取引に終始。本日開催予定の米朝首脳会談や13日のFOMC、14日のECB等重要イベントを控える中、本日も基本的には方向感はいくにもと思われる。米朝首脳会談に関しては、1日限りの会談となるが、実行性のある具体的な成果が出るかが注目される。会談後にはトランプ大統領による記者会見が予定されているが、ヘッドライン次第では値幅を伴った動きに繋がる可能性もあるので留意の要。基本的には110円を挟んだ水準での動きを予想する。

東京	週末のG7では米国と6カ国の間に意見対立が鮮明になったものの、各国の努力で採決された首脳宣言をトランプ大統領が受け入れない方針を発表。通商政策の対立が嫌気されたことからドル円はオセアニア時間に安値109.23を付ける場面も見られたが、その後は底堅い展開となり、109.47レベルで東京時間オープン。高寄りした日経平均株価が上げ幅を拡大させたことや大口の買いワロも意識される中、109.70付近まで上昇。さらに東京時間終盤にかけてこの流れが継続したことから110.03まで続伸し、110.00レベルで海外に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場のドル円は様子見となった。110.00レベルでオープン。今週の主要イベント(12日米朝首脳会談、12-13日FOMC、14日ECB政策理事会、14-15日日銀金融政策決定会合)を控えて109.94-110.06と小幅なレンジでの推移に終始し、109.97レベルでニューヨークへ渡った。ポンドは下落した。1.3426レベルでオープン。イタリアの財政相が同国のユーロ離脱を明確に否定したと伝えられたことを受けてユーロ買いポンド売り地合いの中、英4月貿易収支赤字額が2016年9月以来の水準に拡大したことや英4月鉱工業生産の悪化を受けてポンドは約一週間ぶりの安値1.3345まで下落。安値圏のまま1.3365レベルでニューヨークへ渡った(ロンドン時間17:00531 444 179 西海)
ニューヨーク	G7首脳会談閉幕後に、トランプ大統領がツイッターで首脳宣言を承認しないと表明したことを受け、海外市場のドル円は109.23まで下落する場面も見られたが、堅調な日経平均株価や米金利上昇に支えられたことや上げ幅を拡大するクロス円に連れ高となり、110.06まで上昇し、109.97レベルでNYオープン。今週は重要イベントが目白押しとなるため、本日のNY市場は終始様子見モード。NY時間午前は109.90-95近辺での小動きに終始し、米債入札にかけて上昇する米金利を横目にNY午後にかけて110円台を回復。米国債入札結果の発表後、米金利が上昇したことから高値110.12まで続伸するが、その後は110.05付近でもみ合いとなり、110.03レベルでクロス。一方、ユーロは1.1787レベルでNYオープン。1.1814まで上昇する場面も見られたが1.1780まで反落。NY午後は1.1785付近で膠着状態となり、1.1784レベルでクロスした。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなされるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:末木・田家